

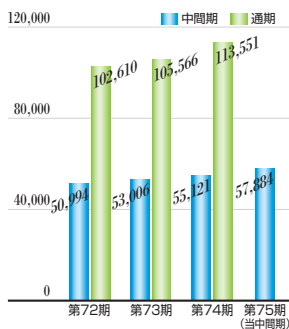
# 中間事業報告書

平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで

第75期

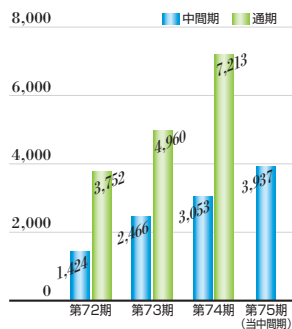
## 売上高

単位:百万円



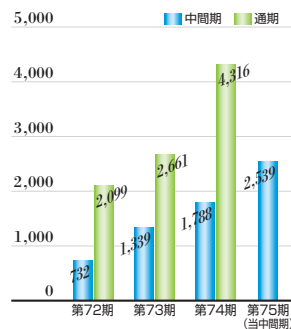
## 経常利益

単位:百万円



## 当期純利益

単位:百万円



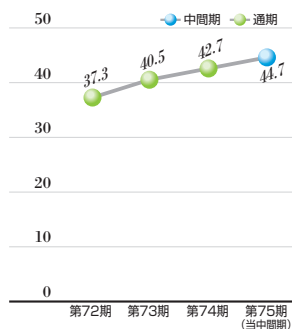
## 総資産

単位:百万円



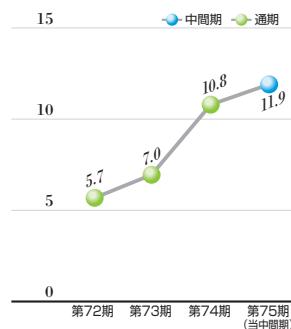
## 株主資本比率

単位:%



## 株主資本利益率 (ROE)

単位:%



## C O N T E N T S

決算ハイライト(連結) .....	1	製品別概況(連結) .....	6
株主の皆様へ .....	2	連結財務諸表 .....	7
事業トピックス .....	3	単独財務諸表 .....	9
製品紹介 .....	5	会社概要/株式情報 .....	10



取締役社長

篠崎雅美

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。日頃は格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。ここに第75期中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業の概況並びに中間決算の状況をご報告申し上げます。

当社の関連するエレクトロニクス業界は、携帯電話、パーソナルコンピュータ、デジタル家電、自動車、産業用機器等、いずれの市場も堅調に推移しましたが、原油高騰による原材料価格の上昇や中国の景気過熱による諸物資価格の高騰、電子部品などの供給過剰感による在庫調整の動きがみられました。

このような事業環境の下、当社はマーケティング力と技術開発力の強化、コストダウンの徹底、品質改革、環境経営等の諸施策に取り組んでまいりました。

その結果、当中間期の連結業績につきましては、厳しい価格競争にもかかわらず成長分野の需要を的確に捉えたコネクタ事業の伸びに支えられ、売上高は前年

同期比105%の578億84百万円となりました。営業利益は、生産革新活動をはじめとするコストダウン活動の推進により前年同期比103%の44億27百万円、経常利益は前年同期比129%の39億37百万円、中間純利益は前年同期比142%の25億39百万円となり、3期連続の増収増益を達成することができました。これらのうち特に売上高、経常利益、中間純利益につきましては過去最高を更新しております。

以上のような状況を勘案いたしまして、当期の中間配当金は1株につき4円とさせていただきますことといたしました。

下期の展望につきましては、エレクトロニクス業界は、パーソナルコンピュータ、携帯電話、デジタルスチールカメラ等のデジタル関連機器市場の成長鈍化、半導体製造関連等の設備投資需要の陰りで先行き不透明感が強まっているものの、アジア市場においては持続的な成長が予想され、北米市場は引き続き堅調を維持するものと思われまます。

このような状況にあつて当社は、引き続きグローバルマーケティングと技術開発力の強化を図るとともに、24時間操業可能体制の拡大、国内・海外生産子会社での一貫生産体制の増強等により、一層のお客様満足度の向上、品質改革、コストダウンを追及し、高い技術力と開発力を背景に、これからもお客様の「ベストデザインパートナー」を目指しつつ、航空電子グループの総力を結集し企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

# Business Topics

## CSR

### 「企業行動憲章」を改訂

当社経営の基本方針を宣言した「企業行動憲章」を改訂し、従来から実践しているCSR（企業の社会的責任）の経営姿勢をより明確にいたしました。今後、この改訂した憲章に基づき、「倫理・法令遵守」や「誠実な企業活動」を基本姿勢として、航空電子グループ経営を推進することにより社会に調和した企業価値の向上に努めてまいります。

### 航空電子グループ企業行動憲章(抄)

航空電子グループは、開拓・創造・実践の企業理念のもと、適正な利益を確保し、企業価値を高め、持続可能な社会の創造に貢献することを目指します。そして、良き企業市民として、関係法令を遵守し、お客様、株主・投資家の皆様、取引先、地域社会をはじめとした関係者に対する社会的責任を果たします。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1.公正で誠実な企業活動 | 5.社会との調和     |
| 2.お客様の満足の追求  | 6.人権の尊重      |
| 3.透明な企業活動    | 7.社員の尊重      |
| 4.環境との調和     | 8.知的財産・情報の管理 |

2004年7月5日改訂

※全文は当社ホームページに掲載されています。  
<http://www.jae.co.jp/intro/charter.html>



### 東京・奥多摩に「航空電子グループの森」を開設

記念植樹（6月）



CO<sub>2</sub>の影響を少なくして地球温暖化を防ぐとともに、生活水を清く保つため、東京・奥多摩の森林を整備する「企業支援の森」事業（植栽他）に当社は第1号として参加し、今年6月と11月に植栽を実施しました。

## グローバル展開

## 中国国内のコネクタ生産体制を強化

航空電子グループの中国国内でのコネクタ生産は、日系、台湾、欧米企業のお客様の中国国内での調達要求に対応するため、2001年7月にJAE Wuxi Co., Ltd.を設立、レンタル工場で生産をスタートさせましたが、お客様からの調達要求がますます強まってきていることから、今年6月、近くにレンタル第二工場を立ち上げ、約6,500㎡に増床し生産能力を倍増、順調に事業を拡大させつつあります。

さらに、今年10月、JAE Wuxi Co., Ltd.の自社工場を建設するため、中国無錫市新区近郊に約56,800㎡の土地を取得しました。自社工場建設により中国における部品生産から製品組立までの一貫生産体制を確立し、海外での売上拡大に対応した生産力増強と価格競争力の強化を図るものです。新工場は、2006年春操業開始予定です。



第二工場

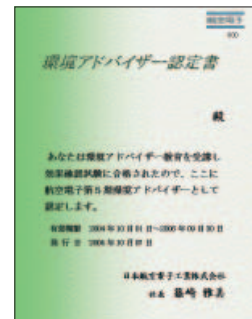
## 環境保全



OJTを兼ねてお取引先で環境品質の確認を行う環境アドバイザー

## 環境アドバイザー活動開始

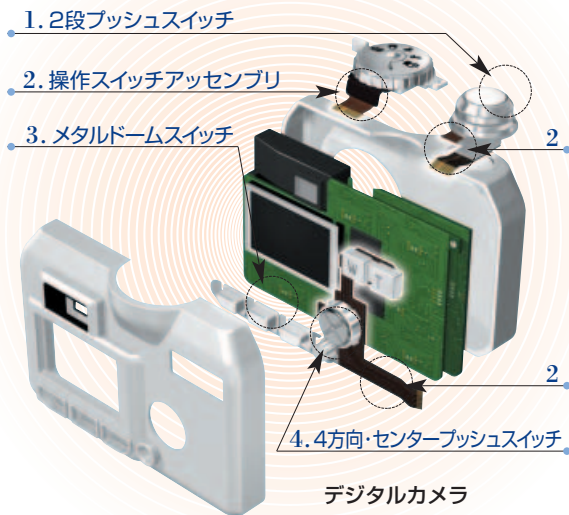
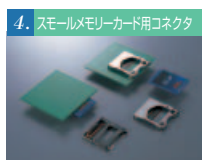
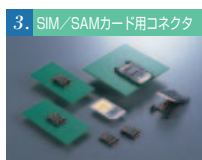
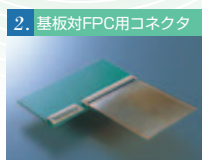
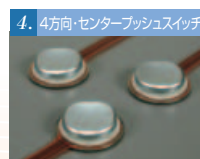
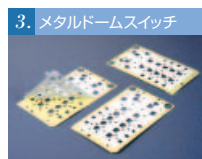
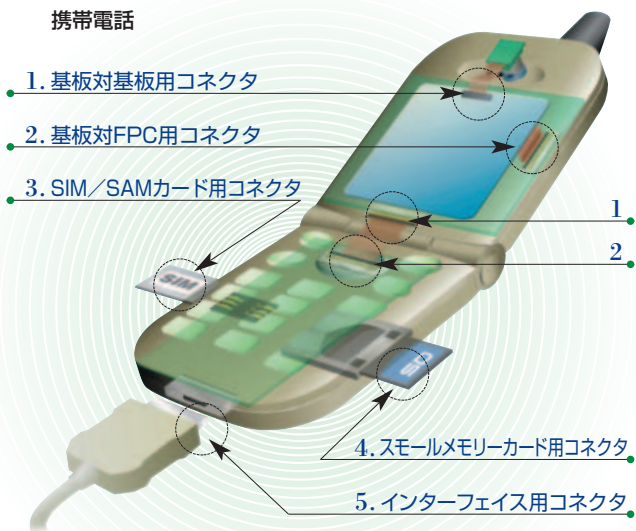
当社及びグループ会社の協力会社が、有害物質削減、環境負荷低減といった環境品質の維持、向上にきちんと取り組んでいただけるよう、今年5月より環境アドバイザーを養成し、グリーン調達への取り組み体制を強化しました。

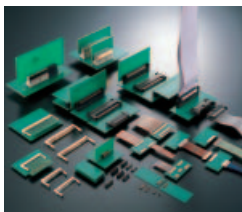


# 当社の製品は、ここで活躍しています。

当社では永年培ってきた高い技術力をもとに、コネクタをはじめとする電子部品から、システム機器、航空・宇宙用電子機器、光デバイスに至る幅広い製品群を取り扱っております。今回は携帯電話及びデジタルカメラに使用されている製品についてご紹介いたします。

## 携帯電話





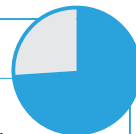
プリント基板用コネクタ

## コネクタ及び同関連製品

売上高 427億9百万円

コネクタ及び同関連製品は、携帯電話・パーソナルコンピュータをはじめとする情報通信機器及びF A・計測機器等の産業用機器、その他民生機器、カーエレクトロニクス等幅広い分野で使用されている製品です。

これら製品の当中間期の受注高は、435億14百万円（前年同期比109%）、売上高は、427億9百万円（前年同期比107%）となりました。



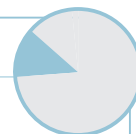
産業機器用操作パネルユニット

## システム機器及び同関連製品

売上高 73億31百万円

システム機器及び同関連製品は、薄型多機能化した各種スイッチ及びそれらを組合わせたスイッチブロック等の入力デバイス、車載用・産業用・医療用の各種ディスプレイ機器及び各種操作パネル等のインターフェイス機器、並びに液晶基板等の高密度実装機器製品です。

これら製品の当中間期の受注高は、74億98百万円（前年同期比102%）、売上高は、73億31百万円（前年同期比98%）となりました。



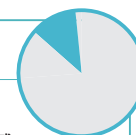
カメラスタビライザ

## 航空・宇宙用電子機器及び同応用製品

売上高 69億16百万円

航空・宇宙用電子機器及び同応用製品は、ジャイロ、加速度計及びこれらセンサを活用した、慣性航法並びに誘導装置、自動制御機器のほか、電波高度計等の航空機搭載電子機器を主体とする官需市場向け製品、並びに半導体・液晶製造装置向け制振用機器及び海外油田掘削向け加速度計関連機器の民需市場向け製品です。

これら製品の当中間期の受注高は、44億50百万円（前年同期比86%）、売上高は、69億16百万円（前年同期比100%）です。



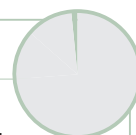
光フィルタ

## 光デバイス製品及びその他の製品

売上高 9億26百万円

光デバイス製品及びその他の製品は、超精密成膜技術を用いた光フィルタ、ARコート並びに光カプラ、光リンク・モジュール等の光エレクトロニクス関連製品を主体とする製品です。

これら製品の当中間期の受注高は、8億57百万円（前年同期比105%）、売上高は、9億26百万円（前年同期比115%）となりました。



貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 平成16年9月30日現在	前中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在		当中間期 平成16年9月30日現在	前中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	<b>60,111</b>	58,600	60,091	流動負債	<b>36,260</b>	34,805	35,949
現金及び預金	<b>19,908</b>	17,264	20,260	支払手形及び買掛金	<b>23,309</b>	21,218	23,145
受取手形及び売掛金	<b>21,296</b>	22,130	21,053	短期借入金	<b>4,189</b>	5,387	4,141
有価証券	—	13	—	未払法人税等	<b>1,642</b>	2,033	2,316
棚卸資産	<b>12,341</b>	13,640	12,528	その他流動負債	<b>7,118</b>	6,166	6,344
繰延税金資産	<b>1,775</b>	1,645	1,668	固定負債	<b>18,085</b>	21,303	19,792
その他流動資産	<b>4,839</b>	3,969	4,635	長期借入金	<b>7,338</b>	10,315	8,790
貸倒引当金	<b>△48</b>	△62	△53	繰延税金負債	<b>191</b>	128	185
固定資産	<b>38,137</b>	37,433	37,127	退職給付引当金	<b>10,084</b>	10,457	10,230
有形固定資産	<b>30,025</b>	30,083	29,510	その他固定負債	<b>471</b>	401	585
無形固定資産	<b>1,577</b>	1,248	1,283	負債合計	<b>54,345</b>	56,108	55,741
繰延税金資産	<b>3,227</b>	3,080	3,160	少数株主持分	—	408	—
その他固定資産	<b>3,306</b>	3,021	3,172				
資産合計	<b>98,249</b>	96,034	97,219	<b>資本の部</b>			
				資本金	<b>10,690</b>	10,690	10,690
				資本剰余金	<b>14,435</b>	14,431	14,431
				利益剰余金	<b>20,682</b>	16,276	18,575
				その他有価証券			
				評価差額金	<b>204</b>	90	234
				為替換算調整勘定	<b>△1,814</b>	△1,696	△2,153
				自己株式	<b>△294</b>	△275	△300
				資本合計	<b>43,904</b>	39,517	41,477
				負債、少数株主持分及び資本合計	<b>98,249</b>	96,034	97,219

Point.1

棚卸資産

売上が拡大する中で、持続的な生産革新活動推進によるリードタイム短縮活動等で、棚卸資産は前期比1億86百万円削減することができました。

Point.2

短期借入金、長期借入金

フリー・キャッシュ・フローの創出により借入金を前期比14億4百万円減少させることができました。また、財務戦略の活用により資金調達リスクの回避と連結ベースの資金の効率化を図っております。

Point.3

資本

着実な利益の確保により、前年に引き続き株主資本の増強を図ることができ、財務的安全性を示す株主資本比率は44.7%と前期末比2.0%改善することができました。

## 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
<b>経常損益の部</b>			
<b>営業損益の部</b>			
営業収益	<b>57,884</b>	55,121	113,551
売上高	<b>57,884</b>	55,121	113,551
営業費用	<b>53,456</b>	50,821	103,475
売上原価	<b>43,283</b>	41,097	83,663
販売費及び一般管理費	<b>10,173</b>	9,724	19,812
営業利益	<b>4,427</b>	4,299	10,076
<b>営業外損益の部</b>			
営業外収益	<b>480</b>	157	263
受取利息及び配当金	<b>51</b>	47	74
その他営業外収益	<b>429</b>	109	188
営業外費用	<b>970</b>	1,403	3,126
支払利息	<b>92</b>	149	260
その他営業外費用	<b>877</b>	1,253	2,865
経常利益	<b>3,937</b>	3,053	7,213
税金等調整前中間(当期)純利益	<b>3,937</b>	3,053	7,213
法人税、住民税及び事業税	<b>1,551</b>	1,967	3,722
法人税等調整額	<b>△153</b>	△747	△907
少数株主利益	—	45	81
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>2,539</b>	1,788	4,316

## キャッシュ・フロー計算書(要旨)

（単位：百万円）

	当中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	<b>5,581</b>	4,927	14,157
投資活動による キャッシュ・フロー	<b>△4,266</b>	△3,340	△6,437
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>1,315</b>	1,586	7,720
財務活動による キャッシュ・フロー	<b>△1,766</b>	△1,452	△4,445
現金及び現金同等物に 係る換算差額	<b>99</b>	△143	△287
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額(△)	<b>△351</b>	△9	2,987
現金及び現金同等物の 期首残高	<b>20,260</b>	17,068	17,068
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	204	204
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	<b>19,908</b>	17,264	20,260

## Point.4

## 中間純利益

生産革新活動をはじめとするコストダウン活動の推進等により営業利益、経常利益ともに前年同期比増となった結果、中間純利益は前年同期比142%の25億39百万円となり、企業の収益性を判断する指標である株主資本利益率は11.9%と前期よりさらに改善することができました。

## Point.5

## フリー・キャッシュ・フロー

設備投資を着実に実行しつつ、利益の確保、売上債権の削減、棚卸資産の圧縮をすすめた結果、フリー・キャッシュ・フローは13億15百万円のプラスとなりました。

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当中間期 平成16年9月30日現在	前中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在		当中間期 平成16年9月30日現在	前中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	<b>47,395</b>	47,777	48,360	流動負債	<b>25,473</b>	23,342	25,213
現金及び預金	<b>15,715</b>	13,826	16,503	固定負債	<b>14,925</b>	18,461	16,658
受取手形及び売掛金	<b>18,627</b>	18,537	18,808	負債合計	<b>40,398</b>	41,804	41,871
棚卸資産	<b>7,884</b>	9,405	8,337	<b>資本の部</b>			
繰延税金資産	<b>1,168</b>	1,111	1,132	資本金	<b>10,690</b>	10,690	10,690
その他	<b>3,999</b>	4,895	3,577	資本剰余金	<b>14,435</b>	14,431	14,431
固定資産	<b>31,564</b>	29,922	30,802	利益剰余金	<b>13,533</b>	10,974	12,259
有形固定資産	<b>14,308</b>	14,931	14,229	その他有価証券評価差額金	<b>197</b>	74	210
無形固定資産	<b>1,303</b>	922	1,004	自己株式	<b>△294</b>	△275	△300
投資その他の資産	<b>15,952</b>	14,068	15,568	資本合計	<b>38,561</b>	35,895	37,291
資産合計	<b>78,960</b>	77,699	79,162	負債・資本合計	<b>78,960</b>	77,699	79,162

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	当中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
<b>経常損益の部</b>			
<b>営業損益の部</b>			
営業収益	<b>49,081</b>	45,781	95,590
営業費用	<b>46,738</b>	43,541	89,991
営業利益	<b>2,342</b>	2,239	5,599
<b>営業外損益の部</b>			
営業外収益	<b>899</b>	764	1,109
営業外費用	<b>690</b>	1,019	2,383
経常利益	<b>2,552</b>	1,984	4,325
税引前中間(当期)純利益	<b>2,552</b>	1,984	4,325
中間(当期)純利益	<b>1,706</b>	1,365	2,879
中間(当期)末処分利益	<b>5,877</b>	3,319	4,603

## 会社概要

(平成16年9月30日現在)

## ■会社概要

商号	日本航空電子工業株式会社 Japan Aviation Electronics Industry, Limited
創業	昭和28年8月20日
従業員数	連結4,459名／単独1,745名
本社	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目21番2号 電話：03-3780-2711
営業部門	〒153-8539 東京都目黒区青葉台3丁目1番19号
昭島事業所	〒196-8555 東京都昭島市武蔵野3丁目1番1号
支店・営業所	大阪支店／中部支店／仙台営業所／静岡営業所／ 福岡営業所

## ■役員

取締役社長（代表取締役）	取締役	金山 洋光
……………篠崎 雅美	取締役	島村 正人
専務取締役……………稲積 紀樹	取締役	湯岡 泉
常務取締役……………増成 肇	取締役	玉置 隆志
常務取締役……………秋山 保孝	取締役	星 勝敏
常務取締役……………市村 義昭	監査役（常勤）	高橋 明
常務取締役……………小川 幹雄	監査役（常勤）	兼八 健二
取締役……………小林 恵之	監査役	臼井 建治
取締役……………長谷川 清	監査役	小村 正幸
取締役……………堀江 和民		

## ■航空電子グループ（※印は連結対象会社）

## 国内グループ会社

弘前航空電子株式会社\*／山形航空電子株式会社\*／富士航空電子株式会社\*／信州航空電子株式会社\*／ニッコー・ロジスティクス株式会社\*／航空電子エンジニアリング株式会社／ニッコー産業株式会社／ニッコーフーズ株式会社／JAE八紘株式会社\*／弘前八紘株式会社

## 海外グループ会社

JAE Electronics, Inc.\*／JAE Oregon, Inc.\*／JAE Taiwan, Ltd.\*／JAE Philippines, Inc.\*／JAE Wuxi Co., Ltd.\*／JAE Wujiang Co., Ltd.\*／JAE Shanghai Co., Ltd.／JAE Hong Kong, Ltd.\*／JAE Singapore Pte Ltd.／JAE Korea, Inc.\*／JAE Europe, Ltd.

## 株式情報

(平成16年9月30日現在)

■発行済株式の総数	92,302,608株
■株主数	9,059名
■大株主	

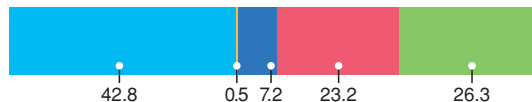
株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
日本電気株式会社	22,491,671	39.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)	13,800,000	—(※)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,104,000	11.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,673,000	10.63
バンクオブニューヨーク・ロイヤリティッド・ルクセンブルク131800	3,300,000	3.62
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	1,332,000	1.46
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,068,000	1.17
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	793,000	0.87
イノビスピー・バンク・ビルダー・クワイアグ・ユナイテッド・ステイツ	632,000	0.69
日本航空電子工業従業員持株会	605,070	0.66

(※)日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)の持株数13,800,000株の議決権は、信託約款上、日本電気株式会社が留保しています。

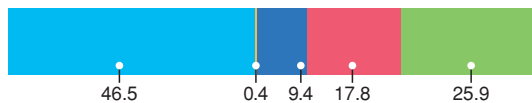
## ■所有者別株式分布の状況

	株主数(名)	持株数(株)	持株数比率(%)
金融機関	59	42,952,034	46.5
証券会社	31	353,139	0.4
外国法人等	73	8,672,225	9.4
個人その他	8,758	16,431,631	17.8
その他の法人	138	23,893,579	25.9
合計	9,059	92,302,608	100.0

## 前期(%)



## 当中間期(%)



夢と未来を技術でひらく

# 航空電子

日本航空電子工業株式会社

## 株主メモ

### ■決算期日

3月31日

### ■定時株主総会

6月

### ■基準日

3月31日(中間配当基準日 9月30日)

### ■株式事務取扱場所

名義書換代理人

大阪市中央区北浜四丁目5番33号

住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番4号

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(各種照会先)

住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417

その他のご照会 ☎0120-176-417

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所

住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

### ■公告掲載新聞

日本経済新聞に掲載します。但し、貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、決算公告に代えて当社ホームページにおいて掲示しております。

### ■上場証券取引所

東京証券取引所

## 単元未満株式を保有されている皆様へ

当社では、単元未満株式の買増制度を導入しておりますので、ご所有の単元未満株式を1単元(1,000株)とするため、必要な数の株式の買増しを当社に請求することができます。

また、単元未満株式の買取り制度を利用することもできます。

詳細は、名義書換代理人(☎0120-176-417)にて照会下さい。

## ホームページもご覧下さい

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的な情報開示を行っています。製品情報に加えて最新のトピックスを随時更新しております。



<http://www.jae.co.jp>

2100

古紙配合率100%再生紙

PRINTED WITH  
SOY INK

環境に配慮した「大豆油インキ」  
を使用しています。